## ボーリング柱状図

調 查 名 金屑川地質調査業務委託

ボーリングNo 4

事業・工事名	平成25年度都市基盤
--------	------------

32' 23.4 ボーリング名 調査位置 福岡県福岡市早良区田村4丁目~田隈3丁目 **緯**33° No. 4 発注 機 関 福岡市道路下水道局建設部河川課 調査期間 平成 25年 10月 3日 ~ 25年 10月 10日 **経** 130° 20' 14.3" 九研地質株式会社 場 ボーリング 調査業者名 主任技師 晃 山之内 洋 伸 山之内 洋 伸 野口 成 清 良夫 電話 (092-271-4027) 責 任 者 代 理 人 180° 方 北 ハンマー 地 270° 試 錐 機 半自動 孔口標高 Y S O - 0 SF 90° 用機種 19.396m 盤 落下用具  $90^{\circ}$ 勾配 東 ポンプ 総掘進長 エンジン GP-315.19m NFAD-8向 180゜南

標	標	層	深	柱	土	色	相	相	記	孔内					標	準	貫	入	試	<del></del> 験			原	位	置試	験	試彩	1 採	取	室掘								
尺	高	厚	度	状	質		対	対		水 位 (m)	深	打雪	nごと 隆回	数型数数	<u> </u>			N	0	値			深	試お	<ul><li>験</li><li>よび結</li></ul>	名	深		<u>.</u>	内 試 験 (								
					区		密	稠		/  測  定	度	\( \)	10 2	20 <sup>7</sup> / 2   貫入									度				度		方	月								
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事	月日	(m)	10	20 3	30 (cn		) :	10	20	3(	) 4	10	50 60	(m)				(m)	号	法	<u> </u>								
1	17.40	2.00	2.00		埋土・硝混じり研	樂暗灣褐	非常に密な		上部20cmはコンクリート。 細砂主体。礫はφ2~30mmの亜角礫 主体。 1.30m付近、20cmの玉石を介在。 1.5m付近、木片を混入する。	10/7	1.15	18		50 18							_	<b>&gt;</b>								100								
2	16.40				11岁	暗褐~灰	緩い		中砂主体。 礫は φ 2~40mmの花崗岩、石英亜角 礫。 高含水比。	2.30	2.15			2 7 30		9														-								
	15.65	0.75	3.75	0:0:0	シルト	青灰		軟らかい	際。 高含水比。 軟らかく指圧にて、容易に指が貫入 するシルト。 粘性弱。含水小。	-	3.45	1 15 16		2 30 8 35																								
F 4						灰	密な~		河床堆積物。 上部25cmは礫の含有少ない。		4.15 4.45 5.00 5.06			8 35 30 50 6	35 250					<u> </u>	_	>								10 4								
6				0.000	1 4少	灰   マ   マ   マ   マ   マ   マ   マ   マ   マ	非常につ		細〜中砂主体。 礫はφ2〜40mmの花崗岩、石英亜角 礫主体。 5.0m付近にφ15cmの花崗岩玉石を 混入する。		6.15	17	13	15 45	45						<u></u>	_								-								
7	11.70	3.95	7.70				密な				7.15	9	12	11 32	32															10								
8	11110	0.00							河床推鵝物		8.15	22	28 9	50 19	79						_	*		-						7								
9						緑	非常に		河床堆積物。 玉石は短柱状コアにて採取される。 長さ10~20cmの花崗岩玉石で硬質。 ハンマー打撃により濁音を発する。 砂は細~中砂主体。礫は o 2~10mm の花崗岩、石英亜円礫主体で、所々		9.15			8 28								>								-								
10					り砂礫	灰	密な		の花崗岩、石英亜円礫主体で、所々に ゆ30~80mmの花崗岩亜角礫介在。 含水小。										10.15	20		50 20								>								10
11	7.50	4.20	11.90		ļ						11.15	18	17 J									>																
13				+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	風		非		軟岩質で軟岩DCにてコア形を保ち採取される。		12.15 12.36 13.15	25		8 50 1 21 50 15							_	>				]												
14				+ +	化花崗	褐灰	常に密か		風化が進み、指圧にて砂状に砕ける。 基岩組織、残留。 岩級区分はCL級で、RODはほぼ10cm		13.30			$\begin{array}{c cc} & 15 \\ 12 & 50 \\ \hline 2 & 22 \\ \end{array}$																								
15	4.21	3.29	15.19	+++++	岩	な		出版とが、Replayation 以下で0である。		14.22 15.00	22		50	,															10									
											15.19																											

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。